

平成27年6月第3回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第1号
受理年月日	平成27年6月11日
件名	松阪市議会議員の定数及び議員報酬削減を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市垣鼻町1785-3 松阪市長と共に松阪を創る会 幹事長 周藤 雅勝
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	深田 龍

松阪市議会議員の定数及び議員報酬削減を求める請願書

平成 27 年 6 月 11 日

松阪市議会議長

水谷 晴夫殿

紹介議員

深田 龍



請願者 松阪市垣鼻町1785-3 (藤工業内)
松阪市長と共に松阪を創る会

幹事長

(印) 津田 裕 (印)

(請願の趣旨)

近年、全国各地の地方自治体は、税収が伸びないなか、経常的経費や社会保障関係費等が増大し厳しい財政環境であります。こうした状況下、行財政改革、公務員改革を求める市民の要望も増大しています。平成 25 年度松阪市の経常収支比率は、90.7%と言う結果でした。経常収支比率は市の財政構造の弾力性を判断する指標であり、80%以下が適正とされ、松阪市は財政構造が硬直化しています。

平成 27 年度の議員関係予算 28 人分（報酬・期末手当）の合計は 1 億 9 千 640 万円それに加えて政務活動費は 840 万円です。議員 1 人当たりにかかる直接経費は平均 730 万円相当である。議員の活動内容、議会の拘束日数等を考慮し、また、平成 25 年度の三重県民所得 307 万円と比較すると議員報酬が如何に高額であるか、削減は当然であると考えます。

現状の議会を聴取していても一部の議員は自覚、責任感が見受けられない。又、質問等の内容に付いても（まちづくり基本条例、競輪事業、図書館改革等否決）、市民の要望を汲みとっていないと思われま。そして議員は、本来の職責である市民への説明責任を果たしているのか甚だ疑問であります。

結論として、現状の様な議会運営、内容、議員資質等考慮し、且つ、松阪 43 地区のまちづくり協議会や自治会等外部組織の活用を研究、検討し効率よく運用することにより議員定数は“人口 10,000 人に対し一人”で十二分であると考えます。議員の中には地域的、人口比等問題になろうかと思われるが其れは議員の努力で解決することは可能である、そして県議選へ 3 名出馬し欠員がでても何ら影響が無いので議員定数は 20 人で十分である。

山中市長、副市長も就任以来、報酬 20%、期末手当 50%を自ら削減に取り組んでおり、議員報酬については、議員自らも身を削り早急に経費削減を率先する必要がある。

従って、議員定数及び議員報酬の削減を請願するものであります。

記

(請願事項)

- ① 松阪市会議員定数 28 名を 20 名に削減されたい。
- ② 松阪市会議員の報酬・期末手当を 20%削減されたい。

